



# Good News for Japan

## 直りたいのか？

吉田 眞

### 救世軍病院の設立

第一条 救世軍病院は親しく貧困なる患者に接触してこれを救済することをもつて目的とする。

その方法は、

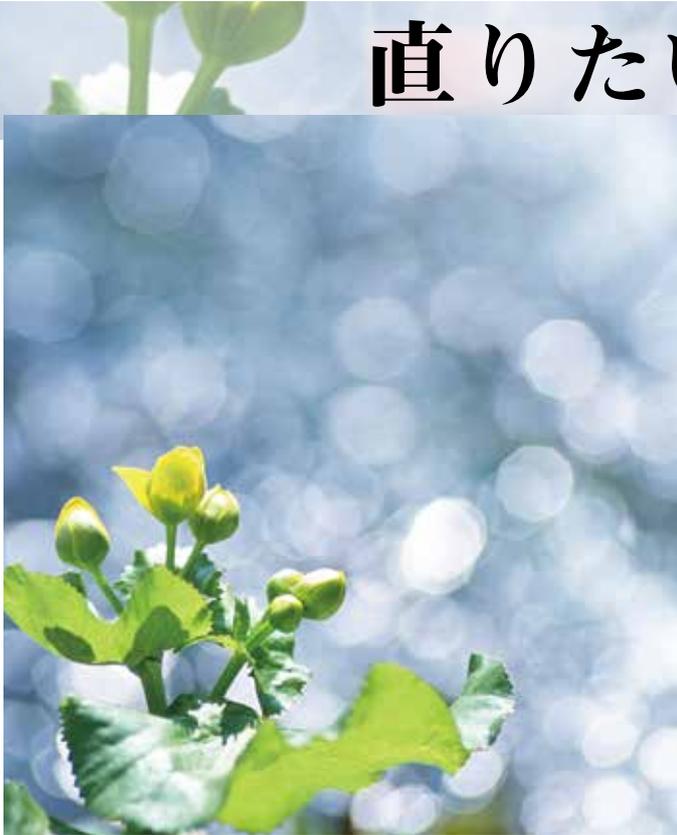
(1) 外来の診療

(2) 貧民窟の巡回救護

(3) 入院

(4) 他病院への紹介

第七条 本院は患者の自重大心を傷つけざらしめんとためなるべく多少の薬価を支払わしめ、ただ、極貧者に限り全然施療をなす。但し、薬価は一日一剤金五銭を超過することなし。



これは、一九二二年、下谷仲御徒町(現在の東京都台東区)に開設された、日本で最初の救世軍病院の病院規則の一部です。注目したいのは、この働きが「貧困なる患者」に対する働きであると共に、「患者の自重大心を傷つけないため、多少の薬価」を請求しているところと、ここには、弱者に対する実際的な配慮とその尊厳に対する配慮とが見られます。

### キリストを模範とし

その背景にあるものは、救世軍病院の理念の根底にある、イエス・キリストが、

人々(特に弱者)に対して示した姿勢に倣いたい、という考え方です。

ここで言う弱者とは、単に経済的に貧しい者とか、病者を指しているのではありませぬ。心が健康であるとは言えない人、あるいは心が病んでいるのに、そのことに気がつかないでいる人をも含んでいるのです。

一般に、病気の自覚症状がないときには、病気の発見が遅れることがあると、定期的に見が手遅れになることがあります。また、定期的に見が手遅れにならないと、病気の発見が遅れることもあるのです。

### 良くなりたいたのか？

聖書(ヨハネによる福音書5章)の中にこんなお話が書かれています。

エルサレムの町に一つの池がありました。どうも、間欠泉であったようで、定期的な水が噴出したようです。そして、その水が噴き出す時、最初に池に飛び込んだ人は、病気が治るといふ言い伝えがありました。その池の傍に、三十年以上も病気で苦しんでおり、歩くことが困難な人がいました。

キリストは、その人を見

謹んで被災された方々にお見舞いを申し上げます。一日も早い心の平安の回復と、被災地の復興をお祈り申し上げます。

かけ、彼に、「良くなり(直りたいのか)と聞きます。その質問に、彼は「治りたいけれども、水が動くとき、わたしを池に入れてくれる人がいないのです」と答えます。そして、キリストが彼に、「起き上がりなさい」と言うと、彼は歩くことができるようになるのです。

### 良くなるとは？

面白いことに、その後、神殿の中で彼に会ったキリストは、「あなたは良くなったのだ。もう罪を犯してはいけな」と言われます。病気が彼の罪とは、どんな関係があるのでしょうか。「良くなった」という言葉には、病気が治ったという意味だけでなく、その人の「全体が良くなった(直った)」という意味が含まれているのです。「全体が」というのは、体だけではなく、その精神や、心までもを含めて「直った」ということを意味したのでした。

キリストがわたしたちをご覧になるとき、わたしたちの体だけをご覧になるのではなく、存在の全体をご

### あなたは？

あなたはどうでしょうか。「健康、直りたいのか?」「健康、健全になりたいのか?」と問われたとき、「わたしの存在の全部が健康です」と答えることができるでしょうか。

イエスは、この出会いの後、こう宣言されました。「はつきり言っておく、わたしの言葉を聞いて、わたしをお遣わしになられた方を信じる者は、永遠の命を得、……死から命へと移っている。」(ヨハネによる福音書5章24節)

皆様のご健康をお祈りいたします。

(救世軍士官(伝道者))

筆者注・文章の中で、「直る」と「治る」を使っていますが、前者が全人的な意味で「良くなること」に対し、「治る」は、病気が治る意味で使っています。

〈信仰の体験談〉

# 全能者の温かい眼差しと支えにより



救世軍清瀬病院長 **稲葉 裕**

## はじめに

自分の信仰の原点がどこにあったかを、いただいた機会を使って振り返ってみたいことにする。一人ひとりみな違った経過がありながら、同じ信仰に導かれる不思議をいつも感じている。

## ●私ほどのようにしてキリスト者となったか？

### 家庭の背景

父方の祖父は栃木県小山市(卒島)出身で、キリスト教信仰をもち、明治後期には台湾(高雄)で貿易関係の仕事しながら、家庭を開放して日曜学校もやっていたという。昭和初期に東京渋谷に土地を借りて、三人(男二人、女一人)の子どもと生活。第二子が私の父。小学校で洗礼を受けたというが、詳細不明。祖父は私が生まれた頃には信仰から離れていた模様。父は大学を出て商社に勤め、結婚して、戦争中は天津で生活。帰国して一九四二年に私が生まれた。父の兄は札幌で国鉄に勤務、妹(私にとって叔母)は女医で、渋谷で一緒に生活。父が出征した後、沼津市三津浜に疎開した(祖父、叔母、母と四人)。

終戦後、父が帰国。渋谷に帰り、一九四八年、弟が生まれた。祖父は一九四九年に逝去。叔母は渋谷で眼科を開業し、ずっと一緒に生活を共にし、台湾時代の友人と一緒にの教会に、毎週ではないが出席していた。私は、中学受験で麻布学園への入学が許され、ギデオンの協会の聖書をもらったことを覚えている。

## 高校二年生の一月からのこと

麻布学園は中高一貫教育で、一年生から軟式テニスに夢中になった。高二の秋で部活動は終了。受験態勢に入った。ここで、テニス部の友人から再三、高校生のキリスト教集会「ゴゴロ」(高校生聖書伝道協会)に誘われる。場所は、自宅から歩いて十五分くらいの、渋谷駅近く。決め手は、小学校時代のマドンナ(?)が来ているということ、一月末の日曜日の夕方、初めて参加した。若いスタッフ、現在八尾福音自由教会名誉牧師の堀内顕先生の生きのいい話と、若い女子高生が大勢いて、賛美歌・聖書の暗唱に抵抗なく入っていった。その後は毎週のように参加することになった。

その年の四月、麻布学園の毎年恒例のクラス替えで、この集会のリーダー格の学生とクラス委員を一緒にやることになった。それが竹脇真理君だった。彼は六月大病院に入院した。検査の結果は後で知らされたが、悪性の脳腫瘍であった。見舞いに行ったのは二回限りだが、ベッドの周りに聖句を一杯貼って、病人とは見えない元氣な笑顔だったことを覚えている。そして十二月一日に彼は召されていった。

テニス部の友人は竹脇君と仲が良く、しょっちゅう手紙のやり取りをしていた。竹脇君の死後、日記と手紙を編集して本を出版することになった。タイトルは『勇ましく高尚な生涯』(写真 | 内村鑑三の『後世への最大の遺物』からとった言葉であった)。その手紙を見せてもらって、心を打たれた。「稲葉君はもう信じている」と手紙にあった。

十二月中旬の高校生クリ



竹脇真理君の本



スマス大会で、講演者の、イエス・キリストを信じる表明をするように、という招きに応じて、「これから竹脇のような立派なクリスチャンになる」という決意で立ち上がった。この時約束してくださいと言われた三つのこと―聖書を読むこと、祈ること、集会に出席すること―は、今もしっかりと覚えている。

しかし、暮れから正月にかけて、クリスマスチャンであるという言動がほとんどできなかった。家族や友人に對して良い証しができず、毎日ゴロゴロしていることが多かった。勉強も手につかず、日曜日の夕方、J.P.P. の集会に出かける気持ちも義務感が強かった。そのような中で、一月の最終日曜日の集会、スタッフの話もあまりピンとこないまま、終了後のおしゃべりをしてしていると、数人が賛美歌を歌い始めた。「ひとたびは死にし身も」という美しいメロディーの『讚美歌』五三二番。その楽譜の下に小さく書かれた聖書の箇所

を何気なく開いてみた。

「主なるわたしはこれを守り、常に水をそそぎ、夜も昼も守って、そこなう者のないようにする。」

(イザヤ書 27 章 3 節 口語訳聖書)

という、イスラエルへの神の約束である。それが、自分に向かって主が語りかけてくださった言葉として、すつと心に入ってきた。温かい気持ちに満たされた。その後、家で聖書を読み、祈るといふ時間が楽しくなつた。集会でも友人と共に祈ることができるようになった。また、H.L.B. の集会に参加した動機が女の子のことであったことも、スナップに告白できた。新約聖書のヨハネによる福音書一五章一六節に、

「あなたがたがわたしを選んだのではない。わたしがあなただがたを選んだのである」(口語訳聖書)

という御言葉がある。罪深い者、弱い者のためにご自分の命を捨てるほどに愛してくださったイエス・キリストが、私に個人的に語りかけてくださったことを、五十年以上経った今も大きな喜びをもって語ることができる。今も主の約束は変わらずに「夜も昼も」「常に水を注いで」くださっている。

る。

### ●私はどのようにして現在の仕事につくようになったか？

#### 医学を志望した理由

一緒に暮らしていた叔母や、伝記を読んで感動した野口英世、シユバイツァーなどに影響を受け、医学部志望で受験態勢に入っていたが、信仰をもつてから、当時の同期のクリスチャンの交わりの中で、宣教師への憧れが育つていった。前述の竹脇君の言葉に「自分は東南アジアで魂を救う医者になる」というのがあり、彼の信仰を受け継ぐ者としてその意識は強まっていた。不思議な摂理で、成績が低下していたにもかかわらず、東京大学理科Ⅱ類への合格が許されたが、教会や大学の聖書研究会に割く時間が多くなつていて、二年後の医学部への入学試験で落第を経験した。

自分ではこれで医学の道が閉ざされたので、神学校への進学を考えたい、と H.L.B. の指導者に相談に行つた。ところが、

「試験に落ちたから献身して宣教師になるなんて考えは、神様に喜ばれるわけがない」

と厳しく叱られた。確かにそのとおりだと納得し、翌年、当時、最後の医学部入学試験を受験して何とか入学を許され、医師への道を歩み始めた。

#### 入学後の歩み

医学部に入学してから、東大キリスト者医科連盟というサークルに積極的に関わることになった。ここで

当時衛生学助教であった山本俊一先生と親しくなり、学内での聖書の学び、国内や台湾でのフィールドワークなどを通して、多くの指導を受けた。大学紛争の中で卒業した後、先生の紹介で、当時の国際空港であった羽田空港の検疫所で、アジアに流行していたコレラ菌の研究を開始した。一九七〇年四月から、落ち着きを取り戻した大学に戻り、先生が教授となつておられた保健学科疫学教室の大学院博士課程に入学した。

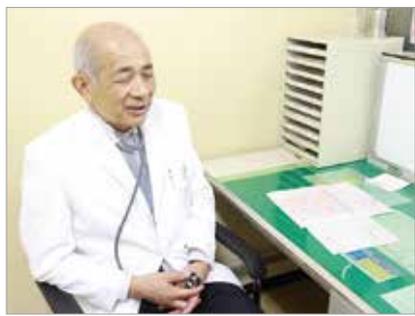
大学院では海外技術移転の専門家として、翌年二月



大学院時代

からフィリピンとの共同事業(コレラ撲滅対策)に加わり、マニラに一年間派遣された。一方、一九七二年には、厚生省に難病対策室が設置され、山本教授が難病の疫学研究を手がけることになった。教室全体が事務局としてベーチエツト病など八つの難病の全国調査をすることになり、大学院終了後は助手としてその研究に関わることになった。

一九七四年には山本教授が保健学科から医学部衛生学教室教授に転任され、私もその六月には助手として衛生学教室に転任した。また先生の後について、「疫学研究の倫理」に関する会合に参加し教わることが多くあった。山本先生は東京大学退官後、当時の東京都老人研究所から聖路加看護大学へ移られ、死生学の研究・教育に従事された。これも今となって私に大きな



影響を及ぼしている。私自身はその後、紆余曲折を経て、二〇一四年四月から救世軍清瀬病院の療養病棟の医師として勤務を開始した。高齢者の一人である自分を含めて、人生の終わりをどのように過ごしたらよいかを模索し続けるとともに、死に向かう人々への様々な支援を提供していきたいと願っている。

#### おわりに

これまでの歩みを振り返って、いろいろな出来事があったが、その背後に常に全能者の温かい眼差しと支えの手があったことを、感謝したい。好きな聖書の一節を引用して稿を終える。

「順境の日には楽しめ。逆境の日には考えよ。神は人に将来どういふ事があるかを、知らせないために、彼とこれとを等しく造られたのである。」

(伝道の書 7 章 14 節 口語訳聖書)

#### プロフィール

救世軍清瀬病院長。東京大学医学部医学科卒業、同大学医学部保健学科博士課程修了後、同大学医学部助手を経て順天堂大学医学部衛生学講座助教授・教授となり、定年退職後実践女子大学生生活科学部教授、介護療養型老健施設長を歴任。二〇一四年救世軍清瀬病院勤務、二〇一六年十月より現職。

主な研究テーマは、疫学・コレラ・食中毒・ベーチエツト病・網膜色素変性症・レットクリングハウゼン病・がん・日本住血吸虫症・突然死・熱中症など。

一九八九年から二〇〇七年まで福音主義医療関係者協議会(E.M.E.)会長。一九七八年 E.L.B. (高校生聖書伝道協会) 支援会常任理事、二〇一五年から理事長。



Address and contact information form with fields for name, residence, and a note about the envelope.

裏、この部分を封書か葉書に貼り、面下の救世軍にお送りください。

創立者 ウィリアム・ブリス 大将 アンドレ・コックス (万国本営 英国ロンドン) 日本司令官 ケネス・メイナール(救世軍本営 東京都千代田区) http://www.salvationarmy.or.jp



### 世界をみつめて

#### 〈スリランカ〉ごみの堆積所崩落地域での支援活動

4月14日(金)、スリランカの首都コロンボ近郊で、ごみ処分場の90メートル以上の高さだった堆積物の山が崩落しました。この地域の145棟の住宅が堆積物に飲み込まれ、死者は、32人(4月21日現在)。この崩落のあった14日は、キリスト教では受難日(イエスが十字架に架けられた日)ですが、スリランカでは、シンハラ・タミルという正月にあたり、在宅している人が多かったことから、犠牲者の数を増やす結果となりました。家に戻れないために学校や親戚の家に避難している人は、1,000人以上にのぼり、政府も緊急援助とその地域の回復のために尽力しています。



支援に加わるアンドレ・コックス大将夫妻

救世軍は、崩落地域を訪ね、550人分の食事を提供しました。

また、ちょうどスリランカを公式訪問していた、救世軍の最高指導者アンドレ・コックス大将も夫人と共に支援活動に加わり、700足のサンダルの配布を助けました。大将は、地元テレビのインタビューを受け、「救世軍は、これからもイエス・キリストに倣って、政府や他の人道支援団体と協力し、長期的な支援をしたい」と語りました。

#### 〈日本〉広島県の救世軍呉保育所で増改築工事起工式

4月15日(土)、社会福祉部長西村保少佐の司式により執りおこなわれました。救世軍関係者、保育所職員、保護者会代表者が参列し、子どもたちにとってのより良い環境づくりのため、救世軍の保育の基盤にある聖書のメッセージとその使命を確認する特別なひとときとなりました。



定礎式で聖書を据える

#### 救世軍社会鍋俳句コンテスト入賞作品発表

当コンテストに、日本全国から二百三十一句寄せられました。三浦喜代子氏(日本クリスチャンペンクラブ代表)他の選者による厳正なる選考の結果、左記の方々の方が入賞いたしました。授賞式は、六月十一日(日)「創立記念コンサート」の席上、おこなわれます。

- 〔優秀賞〕 社会鍋 うなじであやつる 車椅子 埼玉県・関口まさる
- 〔特別賞〕 社会鍋 祖母の生まれし 明治より 東京都・野原てい子
- 社会鍋 幼子の手に 意を託し 岡山県・武田 忍
- 〔ほのぼの賞〕 社会鍋 爪先で 覗きこむ兎の 宮城県・羽田早苗
- 社会鍋 鍋にささげ 両手合せし 老婆あり 埼玉県・坂本弘國
- 〔社会福祉部長賞〕 社会鍋 しゃかいをへ みんなのあいが つまづてる 東京都・朝野 洋

♪ 救世軍創立記念コンサート ♪  
 6月11日(日)午後3時  
 山室軍平記念ホール (地下鉄「神保町」A6出口) 入場無料・来場歓迎!  
 ハワイから特別ゲスト来日!

**救世軍ブース記念病院** 〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-5 Tel.03-3381-7236(代)  
<http://boothhp.salvationarmy.or.jp>  
 〈診療科目〉内科、消化器内科(内視鏡)、循環器内科、神経内科、精神科、整形外科、皮膚科、リハビリテーション科、ホスピス外来、漢方内科、各種健康診断 199床(療養病棟147床、一般病棟32床、緩和ケア病棟(ホスピス)20床)入院随時

**救世軍清瀬病院** 〒204-0023 東京都清瀬市竹丘1-17-9 Tel.042-491-1411(代)  
<http://kiyosehp.salvationarmy.or.jp>  
 〈診療科目〉内科、循環器内科、呼吸器内科、皮膚科、リハビリテーション科、緩和ケア内科 142床(療養病棟117床〔うち介護療養型病床43床〕、緩和ケア病棟(ホスピス)25床)入院随時 昨年、新しい療養病棟が完成。

両病院とも(財)日本医療機能評価機構認定病院です。両病院とも、どなたでもご利用いただけます。

**救世軍とは**  
 The Salvation Army  
 イエス・キリストを唯一の救い主と信じる、プロテスタントのキリスト教会です。創立者は、イギリスのメソジスト教会の牧師だったウィリアム・ブリス。ロンドンの貧しい人々、社会から顧みられない人々の物心両面からの救いを自指して、1865年に働きを始めました。現在は、世界128の国と地域で、助けを必要としている人々のニーズに応えながら、神の愛を伝えています。日本での働きは、1895(明治28)年に始まり、現在は、43の小隊(教会にあたる)と12の分隊(伝道所にあたる)、19の社会福祉施設、2つの病院(ホスピス併設)を通して働きを進めるとともに、街頭生活者支援や災害被災者に対する救援及び復興支援などをおこなっています。

**ブース記念老人保健施設 グレイス**  
 〒166-0012 東京都杉並区和田1-40-15 Tel.03-3380-1248  
 併設：ブース記念ケアマネジメントセンター和田、ブース記念訪問介護ステーションルツ・ナオミ  
 ● 両病院及び「グレイス」、「救世軍恵みの家」で看護師、介護職を募集中

**特別養護老人ホーム 救世軍恵みの家** (ユニットケア型)  
 〒166-0012 東京都杉並区和田1-41-11 Tel.03-3381-7243(代)  
 ユニットケアという、少人数の家族的な雰囲気の中でケアがなされ、食事や入浴、行事など、日常生活がユニット毎におこなわれています。

発行所 救世軍本営 図書印刷株式会社  
 電話 東京(03)三三七〇八八一  
 〒101-0051 東京都千代田区 神田神保町二丁目十七番地  
 印刷兼 代表者 ケネス・メイナール 寺澤 眞由子  
 発行日 毎月一日・十五日  
 定価 一日号一部四〇円(平六〇円) 十五日号一部六〇円(平八〇円) クリスマス特集号十二月一日号 一部一〇〇円(平七〇円) 一年分二二六〇円(送料七五〇円) 振替 〇〇一八〇五四四〇〇

(取扱支部) 救世軍は、統一協会、エホバの証人、モルモン教ではありません。これらの問題でお悩みの方は、右救世軍にご相談ください。  
 (この欄に通信文を書くとき第三種扱いになりません)  
 聖書は新共同訳を使用しています © 共同訳聖書実行委員会 © 日本聖書協会